

# 平成27年度事業報告

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

公益財団法人 内子町国際交流協会

## <基本方針>

本年度も町民一人一人が国際感覚を持ち、活力ある社会を形成すること、また将来を担う人材を育成し、一人でも多くの若者が国際的な視野と実践力を持つことを目指し、以下の事業を行った。

## I. 促進・交流事業

### 1. 意識啓発・情報発信事業

#### (1) 機関紙「ゆうていあ」の発行

協会が実施する各種交流事業の内容や活動状況を町民にPRし、国際交流・国際理解に対する認識を高めるための記事を内子町の広報紙「広報うちこ」へ掲載した。

発行時期：毎月1回（12回）

規 格：広報うちこ（A4版）

#### (2) ウェブサイト運営

インターネットにより、国際交流等に関する情報を収集するとともに、ホームページを通して当協会の活動を広く国内外に発信した。（<http://utia.jp>）

また、SNSサイト Facebook を活用し、イベント参加の呼びかけや活動報告を行った。

#### (3) 先進地視察研修

協会の持続的発展のため、先進的な活動事例を学ぶとともに、各種団体との交流を深めネットワークの形成を図る。今年度は実施なし。

### 2. 各種講座運営事業

#### (1) 外国語活動、国際交流活動

町内小学校における外国語活動や国際交流活動、また幼稚園・保育園での国際理解教育において、外国語指導助手（ALT）・国際交流員（CIR）による活動を行った。小中学校とのコミュニケーションの促進やカリキュラムの提案など、より充実した活動が行えるよう、促進に努めた。

27年度は外国語指導助手2名、国際交流員1名により実施した。

幼稚園・保育園129回、小学校外国語活動322コマ、国際理解教育86コマ

#### (2) 国際理解講座（一般向け）

一般町民を対象に、海外についてわかりやすく紹介する講座を実施した。

・6月15日 世界を旅した気分になろう

講 師：山内 大輔

テーマ：「40カ国・524日間の世界放浪のはなし！」（参加者31名）

### (3) 外国語講座

一般の町民を対象に、英語・ドイツ語の2言語の講座を、レベル別に毎週開講した。

受講者数：各講座 5名～10名

コース：ドイツ語 2コース（初級・中級）、英会話3コース（初級・中級・上級）

### (4) 英語絵本多読プロジェクト

英語絵本を町内中学校の図書室に設置、生徒たちが気軽に親しめる環境を提供した。ALTにより読書指導を行い、多くの英語に触れられる機会をつくった。

## 3. 交流イベント・体験事業

### (1) 国際交流ボランティア活動の推進事業

地域の国際交流の担い手・人材を養成し、活躍の場を広げるための事業を行った。主に以下のとおりの事業を行った。

#### ア ホストファミリー養成・登録

海外へ渡航するだけでなく、海外からの訪問者を受け入れることで異文化理解やホスピタリティーの精神を醸成する。

#### イ イベント等ボランティアの登録

町民のボランティアを登録・養成する中で、地域における国際交流に対する意識啓発を図るものである。①翻訳・通訳ボランティア②イベントボランティア③文化ボランティア

#### ウ 在住外国人支援のための「日本語広場（日本語講師養成）」

地域在住の外国人を支援すること、また外国人との交流を通じ、多様な価値観を地域づくりに活かす一翼を担うものである。

開催日時：毎週土曜日10時～11時30分

対象：日本語学習を希望する在住外国人（受講者数：約5名）

#### エ.海外派遣事業OB会の運営事業（ビッグハンズ）

毎年実施されている青少年海外派遣事業OB会への登録、情報交流を通じ、郷土に対する愛着心を醸成し、若き街づくりの担い手として、共に交流活動に参画することを期待している。

平成27年度はビッグハンズメンバーを中心に56名が笹踊りに参加した。

### (2) 「国際交流の集い」事業

大人から子どもまで楽しみながら異文化に触れる機会を提供する目的をもって、下記の行事を実施する。

#### ア 内子町子どもフェスティバル出展

平成27年度はボランティアメンバー10名で内子町で行われている子どもフェスティバルに出展し、フェイスペインティングを実施した。

#### イ 国際交流イベント開催

国際交流員（CIR）・外国語指導助手（ALT）、ボランティアプランナーの企画において、交流イベントを開催した。

#### ウ ALT交流会主催

普段教育現場を中心に活動しているALTと一般町民との交流の場を作る契機とし

て、様々なイベントに参加し、交流を図った。また ALT が内子町の文化に触れる場を提供した。

- ・ 5月5日（月）凧合戦 五十崎豊秋河原河川敷 15名参加
- ・ 6月27日（土）ALT フェアウェルパーティー（ALT ステイブーン・バブカーク、メーガン・ロウ）内子町共生館ホール 110名参加
- ・ 8月28日（金）ALT ウェルカムパーティー（ALT アマンダ・ケントレール、ピーター・コール）内子自治センター 52名参加
- ・ 1月19日（日）内子町駅伝競走大会 12名参加

### (3) ホームステイ受け入れ事業

姉妹都市であるドイツ・ローテンブルク市からの訪問団をはじめ、ホームステイ受け入れ要請に対し、ホストファミリーの紹介や交流イベント企画といった事業を行う。27年度は次の受け入れを行った。

- ・平成28年3月21日～26日 姉妹都市ローテンブルク市訪問団  
（参加者31名 内ホームステイ希望者15名）

### (4) 財団設立20周年記念事業

平成6年10月の設立以来、「まちづくりは人づくり」を理念に掲げ、青少年の国際理解教育や町民が国際感覚豊かな暮らしを営むための事業を実施してきた。今年度は20周年記念事業の一環として、これからの内子町の将来を担う若者を対象に戦場カメラマン渡部陽一さんを講師に迎えて講演会を開催した。この記念講演に合わせて、広く町民を対象とした巡回写真展も開催した。また、過去20年に渡る活動を総括的に記録し、未来に引き継ぐことを目的として記念誌を作成した。

#### ア 講演会・巡回写真展

講演会：6月11日 内子町共生館ホール

講師：戦場カメラマン 渡部陽一さん

「世界からのメッセージ～平和と命の大切さ～」

町内の中学生・学校関係者（参加者545名）

巡回写真展：「世界からのメッセージ～平和と命の大切さ～」

6月12日～14日 内子町共生館

6月15日～17日 小田自治センター

6月19日～21日 内子町ビジターセンター

#### イ 記念誌の編纂

10月 内子町国際交流協会設立20周年記念誌発行

## 4. 翻訳・通訳事業

行政の観光担当課における各国語パンフレット作成や行政の公用文書等の翻訳、姉妹都市交流行事等における通訳等の言語サポートを行った。

平成27年は英語およびドイツ語観光マップやローテンブルク市訪問団来町時の通訳業務等を行った。

## 5. 内子町中学校英語弁論大会実施事業

内子町教育委員会学校教育課と連携し、町内中学生を対象に英語弁論大会を開催し、弁論指導、審査等の協力等を行った。

- ・平成27年10月2日（金）内子座 町内中学生約200名参加

## II. 助成事業

### 1. 青少年海外派遣事業

中学・高校生を対象に姉妹都市、ドイツ・ローテンブルク市で研修を行うための費用のうち、渡航費等費用の1/2以内（15万円を上限とする）を助成した。ローテンブルク市の協力の下、現地では各家庭にホームステイし、ローテンブルク市の町並保存や環境保護、鑄造工房見学、プレツェル作りなどを体験した。第2訪問地であるイギリス・エディンバラでは現地大学生と研修を行い、異文化への理解を深めた。派遣にあたっては、事前研修を実施し、研修効果を高めるよう努めた。

- ・実施期間：平成27年10月26日～11月4日（10日間）
- ・対象：町内の中学生13名
- ・派遣先：ドイツ・ローテンブルク市、イギリス・エディンバラ

### 2. ローテンブルク市等との文化交流助成事業

ドイツ・ローテンブルク市との姉妹都市盟約締結を機に新設した制度で、工芸や伝統芸能など、内子町の文化の担い手がローテンブルク市等において交流するための費用を助成するものである。ローテンブルク市等の多様な文化を吸収し、まちづくりや日常の生活に活用するとともに、また内子町の伝統や文化の語り部として現地で活躍することを期待し助成した。

- ・平成27年4月28日～平成27年5月5日にかけて、内子・和田重次郎顕彰会がアメリカ合衆国アラスカ州ワシラ市にて国際交流事業を行い、この事業に対して助成した。
- ・平成27年5月20日～28日にかけて、内子手しごとの会メンバー8名がドイツ・ローテンブルク市にて文化交流事業を行い、この事業に対して助成した。

### 3. 町民の海外研修助成事業

内子町民が海外で研修活動を行うための費用の一部を助成するもので、費用の半分を上限として助成を行う制度である。今年度は申請なし。

### 4. 町民の国際交流に関する主体的な取り組みに対する助成事業

内子町内の国際理解や国際交流に関する主体的な取り組みに対し、その活動に要する費用の一部（5万円を上限とする）を助成した。

- ・平成27年5月30日～31日にかけて、内子町外国語ガイドの会のメンバー8名が大阪・奈良にてガイドの研修を行い、この事業に対して助成した。

### Ⅲ. 法人管理

#### 1. 平成27年度理事会・評議員会

月日	会議	主な議案	場所
6月5日	第1回理事会	事業報告・決算審議 事務処理規程の制定について	内子自治センター
6月25日	定時評議員会	事業報告・決算審議 理事・監事・評議員の選任 定款の変更について	内子町役場分庁
6月29日	第2回理事会	代表理事の選定 助成事業3要綱の改廃について 海外研修補助事業審査会委員の選任 特定資産運用管理委員の選任 退職金規程の制定について	内子自治センター
8月10日	第3回理事会	特定資産運用管理方針について	内子自治センター
11月12日	第4回理事会	特定資産売却による資金の使途・運用について 特定資産の取り崩しについて 設立20周年記念事業費の流用について	内子自治センター
3月16日	第5回理事会	特定資産運用方針・計画審議 事業計画・予算審議	内子自治センター

#### 2. 特定資産運用管理委員会

月日	会議内容	出席者	場所
8月10日	特定資産運用方針について	理事長 特定資産運用管理委員7名 事務局4名 野村証券担当者	内子自治センター
11月12日	特定資産運用方針について	理事長 特定資産運用管理委員7名 事務局3名 野村証券担当者	内子自治センター

### 3. 研修・会議等への出席

平成28年 3月3、4日 公益財団法人会計セミナー決算編（事務局）

### 4. 職員の状況について

職員 1名 雇用

### 5. 役員の状況について

①役員（理事・監事） 定数：理事3名以上15名以内、監事2名以内（定款第20条）

H28,3 31 現在

役員	氏名	所属団体等
理事長	稲本 隆壽	内子町長
副理事長	藤渕 利通	元内子町教育委員長
副理事長	小野 尚久	(有)協栄調査測量設計事務所代表取締役社長
専務理事	横田 光敏	内子町教育委員
理事	池田 洋助	内子町議会議長
理事	下野 安彦	内子町議会議員
理事	高本師津雄	NPO 法人 ODA の木協会理事長
理事	一柳 清志	一柳電気水道設備社長
理事	山村美佐子	国際交流プランナー
理事	山岡 晋	国際交流プランナー
理事	大野 千景	国際交流プランナー
理事	名本 裕子	国際交流プランナー
監事	中村 俊昭	愛媛たいき農協内子支所長
監事	富士川 裕子	内子町商工会記帳指導員

② 評議員 定数：3名以上25名以内（定款第9条）

H28,3,31 現在

氏名	主な職業
亀岡 忠重	内子町教育委員会教育長
泉 浩壽	内子町議会文教厚生委員長
小泉 明子	内子町図書情報館長
永見 雅之	参川郵便局長
黒川 定男	伊予銀行内子支店長
武智 操	愛媛銀行内子支店長
森 茂樹	愛媛県立内子高等学校長
篠崎 美幸	愛媛県立小田高等学校長
谷口 利光	内子町立小田中学校長
北岡 美恵子	内子町PTA連合会副会長
城戸 博子	青少年海外派遣OB保護者
山本 勝美	内子手しごとの会会長
宮岡 淑子	内子婦人会
山口 佳一	(株)内子フレッシュパークからり
城戸 彰	内子町教育委員会教育委員長
武田 隆幸	内子町国際交流協会設立準備プロジェクトメンバー

平成27年度附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書を作成しない。